

1月 給食だより

江戸川区立
南葛西第二中学校

新年あけましておめでとうございます。今年度も、残すところあと3か月となりました。
引き続き、毎日の給食時間が待ち遠しくなるような、魅力ある給食作りに努めてまいります。

● 今月の給食目標

給食のねらいや歴史を理解しよう



日本の学校給食は、明治22年、山形県鶴岡町（現：鶴岡市）の私立忠愛小学校で提供されたのが始まりとされています。その後、各地に広まったものの、戦争による食料不足で中断されました。

戦後、子どもたちの栄養不足を改善するため、昭和21年にアメリカの支援団体「LARA（アジア救済公認団体）」から、給食用物資の寄贈を受けて、翌年1月から学校給食が再開されることになりました。そのため、改めて学校給食を考える機会として1月24日～30日までの1週間を「全国学校給食週間」と定められています。

学校給食の移り変わりを見てみよう！

明治22年	戦後(昭和20～30年代)	現在
私立忠愛小学校で提供されたとされる給食	支援物資の脱脂粉乳や缶詰、小麦粉などをを使った給食	地域でとれる旬の食材を取り入れ、郷土料理や行事食、世界の料理など、食育の教材となる給食

～南二中 学校給食月間～

先に紹介した「全国学校給食週間」にちなみ、今年は”丸ごと1ヶ月”「南二中 学校給食月間」を開催します。それぞれテーマをもった献立を一部紹介します。裏面の1月の献立表と合わせてご覧ください。

1月21日～27日受け入れ



2学年チャレンジ ザ ドリーム

本校給食調理委託会社「フジ産業株式会社」さんご協力のもと、2名の生徒が給食室で職場体験を実施します。普段自分たちが食べている給食の調理や、午後は食器洗浄・清掃等の業務に従事する予定です。



校長先生が生徒と一緒に食べたい給食

校長先生にご協力頂き、スパイスが効いたカレーうどんをご提案いただきました。また、魚が苦手な生徒が多いため、ちくわなら美味しく食べてくれるのではないかとお答えいただきました。

ちなみに、校長先生は揚げパンは「ココア揚げパン」がお気に入りだそうです。



東京産給食

東京都はビル群などの大都会をイメージされがちですが、実は山に海にと個性豊かな土地がたくさんあり、地場産物も種類が豊富です。今回は、東京の島しょ部や東京湾から「フルーツレモン」・「糸寒天」・「このしろ」、多摩地域からは「はちみつ」、「東京牛乳」、そして我が区が誇る「小松菜」を使用した給食を提供します。



スポーツ栄養給食

体育や部活動、学校外でのクラブチームで頑張る皆さん、「もっと強く・もっと速く・もっと丈夫に」活躍できる秘密が詰まった内容です。日々の食事を「主食・主菜・副菜・牛乳乳製品・果物」をそろえた「栄養フルコース型」を意識すると、パフォーマンス向上に繋がります。



牛乳を飲もうDAY

「学校給食」では、体や骨の成長が著しい皆さんそのため、カルシウムやたんぱく質等がしっかりとれるよう、毎回牛乳を出すこととなっています。しかし、寒さ厳しい季節は牛乳が残りがちです。そんな中でも、どうにか牛乳を飲んでもらいたいと考えました。